

東芝メモリ株式会社 四日市工場 2018年度安全健康基本方針

当社は、「最先端メモリ技術・サービスを開拓し続けることで人々の暮らしを豊かにし、社会の可能性を広げます」という経営理念に基づき、創造的な技術を用いて持続的に価値追求・成長を続ける企業を目指します。

また、当社における、全ての事業活動において生命・安全・法令遵守を最優先し、「安全で快適な職場環境づくりと心身の健康保持増進」を行い組織と人の活力活性化を推進します。

1. 安全健康を経営の最重要課題の一つに位置づけ「安全健康管理活動の継続的な改善」「業務に起因する負傷および疾病の予防」に努めます。
2. 労働安全衛生法等、その他当社が履行することを決めた指針及び自主基準等を遵守します。
3. 次の事項について推進目標・推進計画を定め実行します。
 - 1) 労働災害や職業性疾病の撲滅、これらを誘発するリスク（人的要素、人間特性、物理的要因、化学的要因等）の抜けない抽出と低減措置
 - ①業務全般（段取り、オペレーション、保守保全、点検、メンテナンス、片付け、非定常）にかかわるリスク
 - ②装置移管後における作業性・作業環境におけるリスク
 - ③化学物質等の危険・有害性におけるリスク
 - ④設備の新規導入・改造におけるリスク
 - ⑤クリーンルーム拡大に伴う建設工事・立上げ作業等に起因するリスク
 - ⑥残存リスク（特に管理リスク）に対する継続的評価と有効性の確認
 - 2) 通勤時に起因する事故の低減措置
 - 3) 健康経営推進体制の構築
全従業員が個々の能力を十分発揮するための心身の健康保持増進施策
 - ①メンタルヘルス対策の推進
 - ②生活習慣病（脳・心臓疾患等）対策の推進
4. 当社の事業にかかわるすべての人の安全と健康を確保するため、取引先に対して安全健康への取り組みを求め支援します。
5. 私たちの安全健康に関する取り組みや成果を積極的に公表し、社会の安全健康管理水準の向上に貢献します。

2018年4月1日

東芝メモリ株式会社 四日市工場 工場長

松下智治